

第1学年 生活科学習指導案

令和3年10月19日

1年2組 31名

場所 1年2組教室

指導者 熊井 千恵

1 単元名 いきものすごいぜ

2 単元設定の理由

(1) 単元に関する児童・地域の実態

本校区は、住宅街であるが自然豊かで、多くの生き物が生息している。また本校には、ビオトープもあり昆虫や水辺の生き物を目にする事ができる。そのため、児童は生き物を身近に感じることができ、休み時間にはバッタやダンゴムシを見つけて喜ぶ姿が見られる。一方で、このような自然豊かな環境にいるにもかかわらず虫を触れない児童や、動物は好きだが虫は嫌いという児童もいる。

これまで児童は、1学期にアサガオを育ててきた。日々成長する様子を観察し、「つるが僕の身長より大きくなったよ。」「つぼみができたよ。」などの喜びや驚きを友達同士うれしそうに伝え合っていた。また、アサガオにきているカマキリやいろいろな虫の幼虫を見つけて「僕のアサガオにお客さんがきてる。」「私のアサガオには虫がいっぱいきているからホテルだね。」など、生き物にも興味をもち始めた。知らない生き物がいるときは、図鑑を使って調べたり保護者に聞いたりして知識を増やし、生き物と積極的に関わろうとする姿も見られるようになった。しかし、生き物を育てた経験が少なく、世話の仕方や扱い方が分からないため、生き物に対して適切な関わりができていないといえない。

(2) 単元について

本単元「いきものすごいぜ」は、学習指導要領の内容(7)「動植物の飼育・栽培」を主な内容としている。本校にいる身近な生き物を飼育する中で生き物が変化していることや、自分と同じように生命をもっていることに気付かせたい。また、生き物の気持ちを考えさせ、責任をもって飼育することができるようにし、これからも生き物を大切にしていきたいという思いを育てたい。

前単元「なつがやってきた」では、校内で夏の動植物と関わった。しだいに「セミの赤ちゃん、可愛いから飼いたいな。」「高い所にいる虫は網を使ったら捕れるかな。」などの児童の声が聞かれるようになり、どの児童も意欲的に活動することができるようになってきた。休み時間には、見つけたセミの抜け殻を取ってきたり、抜け殻によって大きさが違うことを見付け図鑑を見て何の種類かのセミなのかを調べたりするなど、生き物への興味がわいてきている。

そこで本単元では、「生き物を飼ってみたい」という児童の思いを受け、継続的に飼育していくことにする。昨年度担任したクラスではグループで飼育し当番制で世話をしていたが、友達任せにしてしまい気が向いたときにしか世話をしない児童もいた。今年度は、感染拡大防止のためにもグループ活動を避け、一人ずつ飼育することとした。一人一人が責任をもって世話をすることで、生き物への親しみが深まり、充実した活動になるのではないかと考えた。

毎日世話をすることで繰り返し触れ合い、「今日は少し元気がないぞ。」「捕まえた頃より大きくなっている。」「手の平に乗せるとくすぐったいよ。」などの生き物の生きている様子を目の当たりにし、小さな生き物も生命をもっているのだと気付くことができる。そして、同じ生き物を飼っている友達とすみかや餌の相談をしたり、気付きを伝え合ったりすることで、「元気に育ってほしい。」「もっと生き物となかよくなりしたい。」という思いが一層強くなり、新たな気付きが生まれ、適切な関わりができるようになるのではないだろうか。さらに、見付けたこと、感じたこと、気付いたことなどを絵や文で表現したり、劇化したりして、友達に紹介する活動を行う。その中で、生き物の成長や変化に気付くばかりでなく、育てる楽しさを改めて感じたり、もっと他の生き物を育ててみたいという思いをもたせたりしたい。そして、毎日世話を続けられたという達成感を味わい、生き物に寄り添った世話ができるようになった自分や友達のよさにも気付かせたい。この単元をきっかけに、これからも生き物に対する親しみや愛着をもち、生き物を大切にしようという意欲へとつなげていきたい。

3 単元の目標

身近な生き物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所や、変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、適切な世話をし、大切にしようすることができるようにする。

4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
身近な生き物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な生き物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	身近な生き物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な生き物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	身近な生き物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物への親しみをもち、生き物と触れ合い世話をし、大切にしようとしている。

学習活動	児童の意識の流れ	活動の主な支援	評価規準	他教科等との関連
<p>第1次 いきものをさがそう <2時間> ・学校にいる生き物を探す。 ・どんなところにいたか思い出して、交流する。 (1時間)</p> <p>・生き物を探して観察する。 ・生き物を観察して見付けたことを交流する。 (1時間)</p>	<p>アサガオの葉っぱの上にカマキリを見付けたよ。アサガオの葉っぱ以外にもいるのかな。 これはなんの幼虫だろう。 セミの赤ちゃんを見付けたよ。飼ってみたいな。</p> <p style="text-align: center;">生き物を探そう</p> <p>ダンゴムシを落ち葉の下で見付けたよ。 バッタを草むらで見付けたけど触るのが怖いな。 大きさが違うコオロギが草むらにたくさんいるよ。</p> <p style="text-align: center;">生き物を観察しよう</p> <p>足がいっぱいあるね。触ると丸くなるよ。 後ろ足が大きいよ。もっとなかよくなりたいな。 顔の上のほうにひげみたいなのがあるよ。</p>	<p>・虫が苦手な児童には、友達が見つけた生き物を見たり、一緒に探したりして意欲を高め、その児童にあった関わりができるようにする。</p> <p>・図鑑や本で調べられるように生き物コーナーを作っておく。</p>	<p>ウ積極的に生き物と触れ合おうとしている。 ア校庭の虫の特徴や育つ場所に気付いている。</p>	<p>国語科 「やくそく」 学級活動 「むしむしイントロクイズ」 国語科 「うみのかくれんぼ」</p>
<p>第2次 いきものとなかよくなろう <3時間> ・飼いたい生き物を決めて、飼い方を調べる。 (1時間)</p> <p>・生き物を飼う。(1時間) (常時活動)</p> <p>・世話を振り返る。 (1時間)</p>	<p style="text-align: center;">生き物を飼ってなかよくなろう</p> <p>ダンゴムシはすごく小さいけど元気に動き回っているよ。夜はどうしているんだろう。どんなおうちがいいかな。 バッタはすごく高く飛んだって。僕はできないな。バッタの〇〇ちゃんすごいな。草をいっぱい食べると高く飛べるのかな。 きれいな声で鳴いているよ。聞いていて気持ちがいいね。一緒に歌いたくなるね。</p> <p style="text-align: center;">これまでのお世話を振り返ろう</p> <p>お世話が大変だったけど毎日、土に水を吹きかけてがんばったよ。 バッタは新鮮な草が好きなのがわかったよ。 コオロギは鳴くものと鳴かないものがあったよ。</p> <p>なかよくなったダンゴムシの〇〇ちゃんのことを紹介したいな。僕、がんばってお世話したんだよ。</p>	<p>・観察カードを用意し、毎日記録できるようにする。(常時活動)</p> <p>・責任をもてるよう一人一匹ずつ継続して飼育させる。</p> <p>・今まで世話をしてきたことを想起させる。</p>	<p>ウ生き物にあった適切な世話をしようとしている。 イ生き物の立場に立って関わり方を見直しながら、世話をしている。 ア生き物の世話をし、生き物が成長したり、変化したりして、生命をもっていることに気付いている。</p>	<p>体育科「いきものランド」 図画工作科 「粘土で虫をつくろう」 道徳科 「うちのねこ」 道徳科 「さるのおかあさんサヤカ」 図画工作科 「飼っている虫を描こう」</p>
<p>第3次 いきものをしようかいしよう <5時間> ・紹介する相手と方法を決める。(1時間)</p> <p>・発表の準備や練習をする。(2時間)</p> <p>・発表会をする。(1時間)</p> <p>・単元のまとめをする。(1時間)</p>	<p style="text-align: center;">紹介する準備をしよう (本時3/5)</p> <p>ダンゴムシのお世話の様子を絵にしたいな。 バッタがジャンプしているところを僕がまねをしてみんなに教えたいな。 コオロギの鳴き声についてクイズにしたいな。</p> <p style="text-align: center;">生き物を紹介しよう～友達に知らせよう～</p> <p>毎日、新しい餌をあげないと食べてくれないよ。大変だったよ。 バッタは高くジャンプするために、後ろ足をあげると、嬉しそうだったよ。 コオロギはコロコロコロと、オスだけが鳴くよ。きれいな声だよ。</p> <p style="text-align: center;">まとめをしよう</p> <p>・初めは触れなかったけど、バッタの〇〇ちゃんとなかよくなったから触れるようになったよ。嬉しいな。 ・毎日のお世話をするのは大変だったけど、ダンゴムシの〇〇ちゃんは新しい餌をあげると喜んでくれたから嬉しかったよ。 ・もつともつといっしょにいて、大切にお世話をしたいな。 ・小さな生き物も元気に生きているんだな。これからも大切にしていきたいな。 ・きっと虫かごより、みんな自分のおうちに帰りたいんだよ。</p>	<p>・友達同士で聞き合ったり、アドバイスをしたりする場を設定する。</p> <p>・気付きがより深まり、対話的な学びになるように交流の仕方を工夫する。</p> <p>・これまでの活動やワークシートを振り返り、これからも生き物を大切にしようという意欲を高める。</p>	<p>イなかよくなった生き物のことや心を寄せて世話をしたことを振り返り、自分なりの方法で表現している。 ア生き物の世話や発表を通して、自分や友達のよさに気付いている。 ウこれからも生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。</p>	<p>国語科 「しらせたいな 見せたいな」</p>

6 本時の学習

(1) 目標

なかよくなった生き物との関わりを振り返り、見付けたことや感じたことや気付いたことなどを自分なりに表現することができる。

(2) 展開

(○:指導 □:評価)

学習活動	指導上の留意点と評価規準
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なかよくなったいきものをしょうかいするじゅんぴをしよう。</p> </div> <p>2 なかよくなった生き物について、見付けたことや感じたことや気付いたことを表現する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>本物そっくりに段ボールでコオロギを作りたいな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>コオロギがきれいな鳴き声で鳴くことをクイズにしたいな。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>バッタが新しい草をもらったときの気持ちを言いたいから、せりふを考えたい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>バッタのお世話をしている様子をペープサートにしたいな。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>ダンゴムシの歌を完成させたいな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>ダンゴムシが丸くなったところを自分で表現したいな。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <p>3 活動を振り返り、次時への意欲をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バッタになりきってせりふを練習することができたから「ばっちりマーク」にしました。早くみんなに見せたいです。 ・ダンゴムシが丸くなったみたいに自分も丸くなって転がれたから「OK マーク」にしました。 ・コオロギの足を作ったけど曲げるのがうまくできなかったから「がんばろうマーク」にしました。 	<p>○前時を振り返り、本時のめあてを確認し活動への意欲を高める。</p> <p>○同じ生き物を飼育している同士がアドバイスしあえるように近くに場を設定する。</p> <p>○児童の思いにそった表現になるように観察カード、タブレットで撮影した画像を準備し、飼育している生き物とも触れ合えるようにする。</p> <p>○劇やペープサートをする児童には、自分が伝えたい表現になっているかタブレットで動画を撮って確認できるようにしておく。</p> <p>□なかよくなった生き物のことや心を寄せて世話をしてきたことを表現している。(活動観察・表現物) [イ]</p> <p>○ワークシートを使って振り返りをする。</p> <p>○活動できた自分自身のよさや頑張りに気付かせ、達成感や手応えを味わえるように声かけをし、発表への意欲を高めるようにする。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 5px;"> ばっちり OK がんばろう </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> </div>

(3) 評価及び指導の手立て

「十分満足できる」と判断できる状況	心を寄せて世話をしてきたことを振り返り、生き物の立場に立った表現をしている。
「おおむね満足できる」状況にするための手立て	観察カードをもとに、その中から児童の気付いたことやなかよくなった生き物のこと、心を寄せて世話をしてきたことを振り返らせ、個別に話を聞いてアドバイスをする。

